

日本体育測定評価学会 平成 22 年度 E 理事会議事録

(最終更新日：平成 23 年 4 月 5 日)

第 1 回 E 理事会 (平成 22 年 6 月 9 日～6 月 22 日)

協議事項：

1. 会則における理事と名誉会長の人数および関連規定の文言修正について

①会則の第 9 条の理事の人数と名誉会長の人数の変更案 [K 1 ①]

会則と関連規定との整合性を保つための理事の人数表示の変更と名誉会長の人数表示を削除する提案がなされ、投票の結果、「承認する」との投票が多数であったため原案が承認された。

主な変更点：理事定員の「20 名以内」を「20 名程度」、名誉会長の人数「1 名」を削除

②学会役員選出に関する規定における副会長の議決権に関する文言などの修正案 [K 1 ②]

学会役員選出に関する規定における理事以外から選出された副会長が議決権を有さないことと実際の理事会における立場・役割との対応関係の理解が一定ではないため、第 6 条 2 項における文言を修正する提案と平成 20 年度の総会で承認された副理事長の選出に伴う文言追加が提案された。投票の結果、「承認する」との投票が多数であったため原案が承認された。

主な変更点：理事以外から選出された会長、副会長は、就任と同時に理事となることを明記し、「理事会における議決権を有さないものとする」を削除

2. 「会長、副会長、監事選出に関する申し合わせ事項」の改訂について [K 2]

候補者選出の条文に、平成 20 年度の総会で承認された副理事長についての文言を追加する必要があり、投票の結果、「承認する」との投票が多数であったため文言追加が承認された。

3. 評議員規定と会長等の選出に関する規定や申し合わせ事項の公表について [K 3]

今後、役員の交代や事務局移転の際に規定類の引き継ぎがスムーズに行えるようにすることや必要があれば学会員が常時閲覧できるようにするため、学会運営に関係する規定類で公表に問題が無いと考えられるものは学会 HP に最新版を掲載していくことが平成 22 年度第 1 回理事会で確認されたことを受けて、以下の 2 件の規定・申し合わせの内容の確認の後に公表することが提案され、投票の結果、「承認する」との投票が多数であったため公表することが承認された。

○「会長、副会長、監事の選出に関する申し合わせ事項」

○「評議員規定」

第 2 回 E 理事会 (平成 22 年 7 月 12 日～7 月 25 日)

協議事項：

1. 日本体育学会測定評価分科会企画「統計相談」における相談項目の変更について [K 4]

第 1 回理事会で承認が得られた企画案における 5 つの相談内容（「基本統計」「応用統計」「測定・調査・テスト」「運動指導・体力測定」「運動療法・運動指導」）の内、「運動療法・運動指導」の相談コーナーは、公務による相談員の辞退があり、相談員の確保が困難であるため、今年度は開設しないとする案が審議された。審議の過程で、今後は事前に相談員の了解を得ておく方がよいとの意見

が複数出された。投票の結果、「承認する」との投票が多数であったため廃止案が承認された。

2. 日本体育学会測定評価専門分科会における分科会「優秀発表」の選考・審査方法案 [K 5]

日本体育学会における分科会「優秀発表」の具体的な選考・審査方法に関して、将来検討委員会で議論の上、以下の選考・審査方法に関する手続き・申し合わせについての提案がなされた。

1) 日本体育学会大会測定評価分科会において発表された全ての口頭およびポスター発表演題を審査象とする。すなわち、日本体育測定評価学会会員以外の発表演題も審査対象とする。

2) 抄録のみに基づく審査は不可とする。

(1) 口頭発表は、研究内容、発表技術、スライド、配付資料、質疑応答に関して総合的に評価する。

(2) ポスター発表は、研究内容、ポスターに関して総合的に評価する。ポスター発表では同時に複数演題が発表されるため、口頭での発表や質疑応答については評価対象外とする。

3) 口頭発表およびポスター発表における得点の各上位2演題を優秀発表とする。なお、最優秀発表を1演題決めると相対的に他の優秀発表の価値が下がることが懸念されるため最優秀発表は決めない。

審議の過程で、分科会会員以外を審査対象とすることを主な理由で原案に対して反対意見が複数出されたが、提案委員会から非分科会会員も日本体育学会の会員であり区別すべきではないことや他の分科会の研究者の発表が加わることにより研究の質が高まるなどの利点についても説明がなされた。投票の結果、「承認する」との投票が多数であったため原案が承認された。

3. 日本体育学会第 61 回大会において実施するアンケート案 [K 6]

第1回理事会において、日本体育学会第61回大会における分科会企画の2つのシンポジウムに関してテーマごとにアンケートを実施することが承認されたことを受けて、その具体的な質問項目を示したアンケート案について審議した。審議の過程で、タイトルの表現や作成委員会の表示などについて意見が出され、提案委員会から、タイトルなどの表現に関しては、第1回理事会で確認済みであることやシンポジウムのタイトルと対応しているため現時点での変更はできないことの説明がなされ、投票の結果、「承認する」との投票が多数であったため原案が承認された。

第3回E理事会（平成22年9月30日～10月11日）

協議事項：

1. 日本体育学会第61回大会の測定評価専門分科会企画「優秀発表」案について [K 7]

将来検討委員会から選考方法や集計手順ならびに集計結果と分科会企画「優秀発表」案が資料に基づき提案され、投票の結果、「承認する」との投票が全ての理事会構成員から得られたため原案が承認された。なお、分科会企画「優秀発表」に決定した研究発表の研究代表者は以下の通りである。

○口頭発表：大藏倫博（筑波大学）、山次俊介（福井大学）、佐藤 進（金沢工業大学）

○ポスター発表：高橋信二（東北学院大学）、吉田雄大（筑波大学大学院）

（以上、敬称略で評価ポイント順（但し、口頭発表の2位は同点））

第4回E理事会（平成22年12月25日～平成23年1月7日）

協議事項：

1. 日本学術会議会員及び連携会員の候補者推薦について [K 8]

日本学術会議22期会員及び連携会員の候補者推薦の依頼を受けて、本学会からの候補者を募集した

結果、理事会構成員から8名の推薦があった。推薦可能人数は1団体6名以内で内2名以上が女性との日本学術会議の条件を満たすため最終決定を会長に一任し、会長提案の6名について審議した。投票の結果、全ての理事会構成員から原案を「承認する」との投票が得られたため承認された。なお、日本学術会議からの指示により議事録において候補者の氏名は公表されない。

第5回E理事会（平成23年1月7日～1月20日）

協議事項：

1. 常任理事設置案について [K9]

平成22年度第2回理事会で検討を進めることが承認されていた今後の学会運営を円滑にかつ安定的に進めることを主目的とする常任理事設置案が会長から提案された。学会役員選出に関する規程の修正案および新規の常任理事規程案を配布し意見収集がなされ、協議事項として常任理事を設置する提案が審議された。常任理事規程案に目的、任期、解任に関する文言を追加することなどが意見として出された。投票の結果、理事会構成員から「承認する」との投票が多数得られたため原案が承認された。なお、第3回理事会で関連規程の最終版の詳細を確認後に最終決定がなされる。

第6回E理事会（平成23年1月24日～2月6日）

協議事項：

1. 平成22年度「功労賞」案について [K10]

平成22年度「功労賞」について、5名の候補者から成る「功労賞」案が提案され、候補者の役員歴などを資料で確認した後、投票の結果、審議対象者を除く全ての理事会構成員から「承認する」との投票が得られ原案が承認された。平成22年度「功労賞」案で承認された方は以下の通りである。

○岩崎義正氏、岩下 聡氏、大内哲彦氏、片尾周造氏、吉儀 宏氏（五十音順）

第7回E理事会（平成23年3月14日～3月27日）

協議事項：

1. 常任理事案について [K11]

平成22年度第3回理事会および総会で承認された常任理事設置における常任理事案が会長と副会長との協議により提案された。推薦された11名（以下参照）について審議がなされ、投票の結果、「承認する」との投票が多数（「棄権」1票、無回答1票、その他「承認」）得られ原案が承認された。

○大藏倫博、國土将平、小林秀紹、佐藤 進、長澤吉則、中田征克、
中谷敏昭、宮口和義、武藤三千代、村瀬訓生、山次俊介（五十音順、敬称略）

以上

平成22年度第1～7回E理事会議事録承認
村瀬智彦(理事長)、太田あや子、稲垣 敦(副理事長)